



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2010年8月－9月号

Vol.15

支援者の皆様へ

F V I と私の 4 カ月間

支援者の皆様、いつも温かいお祈り、ご支援をありがとうございます。4月以降のこの手紙の中で、F V I (Friends with the Voiceless International 「声なき者の友」の輪) という新しい運動体立ち上げの過程について分かち合わせていただきました。空手でゼロから土台を作り何かを建ち上げるということは、考えていた以上に困難で、心がくじけそうになることも多くあります。そのようなとき、この2年間の神様の恵みと、今も皆様が祈ってくださっているという事実を思い出すことが力になっています。



【写真】左から陣内、柳沢、神田

何もない「カオス」とも言えるような状況の中でも、皆様のお祈りと主のお恵みにより、以下のような進展を見ることが出来ました。感謝をもって報告させていただきます。

■F V I の担い手である「変革のカタリスト (=「触媒」の意)」になる3名が定期的に会合を重ね、今後10年間の長期的展望、および3年間の中期目標を定められた。(9月スタート時点の「変革のカタリスト」は、神田英輔師、柳沢美登里氏、陣内の3名の予定)

■柳沢氏はF V I の新しい時代の海外協力の在り方を探る方針を探り祈り求めることに集中し、今後の方向性について神様からのお導きを受け取った。(詳細はウェブからダウンロード可能な柳沢美登里「祈りの通信」参照 (URL : <http://sites.google.com/site/fwfinternational/> *ホーム→活動の担い手→柳沢美登里→リンク「祈りの通信」ページへジャンプ)

■神田師と陣内は国内3箇所でのビジョン・カンファレンス(地域変革セミナー)を含め、海外を含む各地において、3か月間(6月25日現在)で累計約2,000名の方々に「神の国の視点」とイエスの愛を「見える化」していくことについての啓発を行わせていただいた。

■これまでに「からし種エイジェント」「賛助会員」「創立パートナー」「ボランティアエイジェント」などの形でF V I に具体的に加わりたいと希望くださった方が約70名にのぼった。(希望者のうち登録費を入金くださり正式登録してくださった方が7月17日現在で合計16名。)

■ウェブサイト作成等の広報、会計管理などの分野で活動に協力くださるボランティアの方々が少しずつ起こされてきた。

■複数の教会や個人が、F V I の活動のためにご厚意で場所を提供くださっている。また私たち自身も、テクノロジーの恩恵に与りながら創造的な方法で働くことにより、拠点となる事務所を持たないながらも事務作業を進めることが可能になっている。

■これまでの3名のカタリストの生活費、活動費について、神様の備えを体験し続けている。(マタイ 6:33) しかしながら活動が安定した健全な財務状況になるまでにはまだ程遠く、信仰のチャレンジを必要としています。財務面においてもF V I の活動が支えられていくよう、お祈りいただけると感謝です。

■8月30日に予定されている設立総会および創立理事会を経て、9月1日より非営利の任意団体として正式な立ち上げを迎える予定です。F V I のビジョンに賛同くださる方々が全国各地から「手弁当」で集まってくださいます。神様が豊かに働いてくださり、御心が行われるようお祈りください。

私たちの取り組みはフェイス・ベンチャー（直訳すると「信仰による起業」）と言えると思います。前を見ると、良く言えば「不可能を可能にしようとしている」ような、悪く言えば「無謀」であるような歩みですが、後ろを振り返る時、主が真実であられることにただ驚くばかりです。旧約聖書のヨシュア記に、ヨシュア率いるイスラエルの民がヨルダン川を渡った記述があります。そのときイスラエルの民が一步を踏み出し、足が水際に浸ったときに水がせき止められ、民はヨルダン川を渡り切りました。私たちの歩みも丁度そのようで、前を見ると「無謀にも見えるリスクを冒し続けている」ように見えますが、後ろを振り返る時に確かに主の働かれた跡を見ることが出来ます。私たちの前には全てを呑み込む大河の流れが、後ろには乾いた一本の道があります。ある詩人が言ったように、「私たちの前には道はなく、私たちの後ろに道が出来ている」のです。その道は主が造ってくださった道です。このような冒険の歩みをさせていただける恵みを主に感謝しています。

箱をかつぐ者がヨルダン川まで来て、箱をかつぐ祭司たちの足が水ぎわに浸ったとき、——ヨルダン川は刈り入れの間中、岸いっぱいにあふれるのだが——上から流れ下る水はつつ立って、はるかかなたのツアレタンのそばにある町アダムのところで、せきをなして立ち、アラバの海、すなわち塩の海のほうに流れ下る水は完全にせきとめられた。民はエリコに面するところを渡った。主の契約の箱をかつぐ祭司たちがヨルダン川の真ん中のかわいた地にしっかりと立つうちに、イスラエル全体は、かわいた地を通り、ついに民はすべてヨルダン川を渡り終わった。ヨシュア 3:15-17

活 動 報 告

万座温泉ホテルでの「祈りのリトリート」

5月、6月、7月に一度ずつ、2泊3日の「F V I 祈りのリトリート」の時を持たせていただきました。

F V I の発起人にもお名前を連ねてくださっている日進館万座温泉ホテル株式会社・代表取締役会長の黒岩堅一氏のご厚意により、祈りのリトリートのために場所と交通手段を特別に優遇いただき、原則として毎月、主にカタリスト3名による2泊3日の祈りのリトリートの時間を過ごさせていただいています。私たちの働きが人為方策的な福祉事業や慈善活動ではなく、御国のインパクトをもたらす「神の国の事業」であるために、活動の主体である私たちが定期的に主の前に静まり、祈る時を持つことが切実に必要である、との強い思いが、4月の活動創始期の神田師と私に与えられました。私たちは自分たちがしたいことを行うのではなく、父なる神の御心聞き、そしてそれを行うのです。それ以上でも、それ以下でもありません。(ヨハネ 6:38、20:21) 3回のリトリートを通し、立ち上げのこの時期に持たせていただいているこの祈りの時間が如何に貴重で重要

であるかを再確認しています。リトリートの時間を通し、これまで次のような祝福をいただけてきています。

■日々のルーティンワークに忙殺され、最も重要な「何故これをしているのか？」という質問や「神の国の壮大な御計画の一部である」という認識が埋没していくということから守られている。

■普段考えることを忘れがちで、「50年後の日本、世界の状況から逆算して、今神様がなさりたいであろうことを考える」という時間になっている。緊急な出来事や「したい事」に反応するのではなく、「なされるべきこと」から考え始めてF V Iが取り組むべき優先順位を考えさせられている。

■話し合いではなく、「神に聞く」ことを優先する時間を取ることが出来る。活動の主体である私たちが神に聞くことは、F V Iがこの時代に必要な「21世紀の預言的働き」となるために不可欠な時間である。

■事務所がなくなり、日本国際飢餓対策機構東京事務所に勤務していた3月までと比較し、集まって話す機会が減った3名のカタリストの、良きコミュニケーションの場となっている。

■場所を提供してくださっている万座温泉ホテルで毎晩夜8時から開催されるフロアショーで講演の機会をいただいている。殆どがクリスチャンでない50名～70名ほどの聴衆（宿泊客）の方々に、海外における働きや聖書の世界観、イエスの価値観で生きることについて話させていただき、多くの人々に「伝道」する機会になっている。

万座温泉ホテルは日本一高地にある温泉として有名です。クリスチャンである会長、社長はじめ従業員の心づくしは素晴らしく、温泉宿人気ランキングサイトで全国2位になるなど高い評価を得ています。忙しい日常生活を離れ、「天国に一番近い」温泉で主の前に静まり振り返りの時間を過ごすにも、家族でゆったりとした時間を過ごすにも、最適の場所だと思います。皆様も機会がありましたら是非ご利用ください。

(ホームページURL: <http://www.manza.co.jp/>)



万座温泉ホテル「日進館」

各地での奉仕と活動 (2010年6月～7月)

皆様のお祈りによって、以下の各地で奉仕をさせていただきました。祈ってくださった方々と、関係する教会、グループ、個人の方々にこの場を借りて心から感謝いたします。特に、今年の3月のIFJキャンプ、みどり野キリスト教会のユースキャンプ以降、10代後半から20代前半の若者を励ますという機会が増えてきました。次の世代に宣教の心を持って生きるチャレンジをすることが出来ることは大きな特権です。主からのお力と知恵をいただきつつ、「イエス様ならばそうされるように」若者に仕えていくことが出来るようお祈りくだされば幸いです。

月日	奉仕内容	場所
6月19-20日	全人宣教セミナー	伊那福音教会 (長野県)
6月27日	中高生礼拝でメッセージ	練馬グレースチャペル (東京)
7月25日	青年の集会でメッセージ	練馬バプテスト教会 (東京)
継続的に	全人宣教フォローアップと励まし	練馬など国内各地

祈りの課題

- ◇8月30日のF V I設立総会、理事会において御国のビジョンを共有するパートナーの方々と私たちが結びつけられ、この団体の基盤が神の御心のうちに築かれていくように。
- ◇F I Vには現在のところ広報（特にホームページ）、財務などの事務対応業務を専任するスタッフがないため、ボランティアによる協力者が与えられ、良いチームワークが構築されるように。
- ◇各地での啓発活動や励ましを通し、地域に神の国が拡大していき、人々がキリストを生きていくことに貢献することが出来るように。また、聖霊のお働きにより私自身の内にキリストの似姿が形作られるように。

今後の予定

月日	内容	場所
8月9-11日	JECA 北海道地区 中高生キャンプ	ひだか少年自然の家
8月30日	F V I 設立総会、理事会	本郷台キリスト教会
9月12日	F V I 活動紹介、デピュテーション	練馬グレースチャペル
9月18-20日	デピュテーション	津田キリスト教会（香川県）
9月30日	チャペル講演	大阪女学院中学
10月30日	世界食糧デー郡山大会にてインドの活動を紹介	群馬県郡山市
10月31日	全人宣教セミナー第3回	伊那福音教会（長野県）
随時継続的に	国内啓発活動、フォローアップ	国内各地

連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」
Email shunjinnai1128@yahoo.co.jp ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

支援のための献金方法

私の活動は、すべて支援者の皆様の支援献金によって行っております。経済的支援にご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-9-1889141 名義：「陣内俊を支える会」（手数料無料）
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
(prayer letter 同封の振込用紙がご利用いただけます。)

*ブログ（陣内俊 Prayer Letter ONLINE）から Prayer Letter をダウンロードくださった方も上記の方法でご支援していただけます。振込用紙がご入り用の方は、必要な枚数と住所、お名前を記載の上メールにてお知らせください。

*プレーヤーレターと併せて2枚（2か月分）お送りさせていただく振替口座の振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封させていただきますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込にご利用ください。

*ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方は、上記いずれかの連絡先までお知らせください。

*Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお知らせくださった住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。